

教科	地理歴史	科目	歴史総合	担当	
履修学年	1年	単位数	2	履修区分	普通科（必修）
教科書	『歴史総合～近代から現代へ』（山川出版社）				
副教材等	『歴史総合資料集』（山川出版社）				

1 学習目標

社会的現象の歴史的新発見・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。

2 学習評価

評価の観点	科目の評価の観点の趣旨
知識・技能	知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3 全体計画

部	章	節	授業時	評価の規準			評価方法	
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
歴史の扉		①歴史と私たち 日本と洋菓子	1	・身近な砂糖を題材に私たちの生活が、歴史とつながっていることを理解している。	・砂糖を題材に日本や日本周辺の地域および世界の歴史との関連性について考察し、表現している。	・身近な題材に対してみずから「問い」を立て、歴史との関連を追究しようとしている。	課題提出 授業態度 リフレクション	
		②歴史の特質と資料 台湾における砂糖の生産	2	・台湾における砂糖の生産を題材に、批判的な読みとりと時味が重要であることを理解している。	・資料や図版などから適切に情報を読みとる。 ・複数の資料の関係や異同に着目して、意味や意義、特色などを整理し、表現している。	・生徒相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとめて考察しようとしている。 ・資料を読みとる際の注意点を整理し、学習への見直しを立てようとしている。	課題提出 授業態度 リフレクション	
近代化への問い		1交通と貿易/2産業と人口/3権利意識と政治参加や国民の義務/4学校教育/5労働と家族/6移民	3 4	・資料を利用して、これらの事項が近代化の重要な側面であることを理解している。	・諸資料から、近代化にあたえた影響について考察している。	・見直しをもって学習に取り組もうとしている。	課題提出 授業態度 リフレクション	
		1. アジア諸地域の繁栄と日本	5 6 7	・アジア諸地域の繁栄と日本について理解している。 ・ヨーロッパで成立した主権国家体制と15～18世紀にかけてのヨーロッパの拡大について理解している。	・アジア各地に成立した大帝國を比較したり、清と江戸幕府の政治・経済政策の特徴について考察し、表現している。 ・宗教改革とヨーロッパ人の海外進出、および宗教改革と科学革命の結びつき、海外進出による影響を考察し、表現している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。 ・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション	
近代化と私たち	2 近代ヨーロッパ、アメリカ世界の成立	1. ヨーロッパ経済の動向と産業革命	8	・重商主義や大西洋三角貿易を展開したイギリスが産業革命へと向かったことを理解している。	・産業革命とヨーロッパ世界の拡大について関連付けて考察できる。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション	
		2. アメリカ独立革命とフランス革命	9	・市民革命の原因と経過について理解している。 ・ナポレオン戦争のヨーロッパに与えた変化を理解している。	・市民革命があたえた影響を考察し、表現している。 ・フランス革命の影響を考察し、表現している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション	
		3. 19世紀前半のヨーロッパ	10	・ウィーン体制と自由主義やナショナリズムの対立する構造を理解している。 ・イギリスの自由貿易体制の成立を理解している。	・資本主義に対抗する社会主義がうみ出された背景について、考察している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション	
		4. 19世紀後半のヨーロッパ	11 12 13	・イギリスとフランスの対外政策を理解している。 ・イタリアやドイツの統一国家の形成について理解している。	・ビスマルク外交について考察し、表現している。 ・19世紀の文化・科学と社会の変容を、具体的な例をあげながら表現している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション	
		5. 19世紀のアメリカ大陸		・アメリカ大陸への移民問題やラテンアメリカ諸国の独立、アメリカ合衆国の西進運動について理解している。	・アメリカが南北戦争と国内市場の統一について考察し、表現している。 ・南北戦争後の黒人差別について、多面的・多角的に考察している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション	
		6. 西アジアの変容と南アジア・東南アジアの植民地化	14 15 16 17	・「東方問題」に対する各国の論理を理解している。 ・イギリスがエジプトを植民地化したことを理解している。 ・東南アジアの植民地化を地図から読み取っている。	・オスマン帝國による改革とその限界について考察している。 ・イギリスがインドを段階的に植民地化した過程を考察し、表現している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション	
		7. 中国の開港と日本の開国		・不平等条約について理解している。 ・開港までの日本をとりまく環境の変化を理解している。 ・江戸幕府と朝廷・諸大名の関係に変化が生じたことを理解している。	・太平天國の乱後の改革と限界について考察している。 ・幕府や諸藩における知識・技術の受容と日本の貿易の特徴を考察している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション 定期考査	
		3 明治維新と日本の立憲体制	1. 明治維新と諸改革	18	・明治新政府が成立していった経緯を理解している。 ・諸改革を理解し、文明開化の風潮と広まりを整理し、理解している。	・史料を読み、新政府の方針を比較して共通点・相違点を考察している。 ・徴兵や租税の徴収がどのようにして実施されたかを考察している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション
		2. 明治初期の対外関係	19	・新政府が諸外国とどのような関係を築こうとしたかをまとめている。 ・清・朝鮮と結んだ外交関係を理解している。	・日本が導入した新技術について具体的に考察している。 ・東洋アジアの圏域について、考察している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション	
		3. 自由民権運動と立憲体制	20	・自由民権運動の展開について、その目的を整理し理解している。 ・大日本帝國憲法の成立過程を理解している。	・自由民権運動の展開についてその動きを比較して、表現している。 ・松方財政について自由民権運動にどのような影響をあたえたかを考察している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション	
4 帝國主義の展開とアジア	1. 条約改正と日清戦争	21	・条約改正が東アジアの国際関係にどのような影響を与えたかを理解している。 ・日清戦争の影響と国内の変化をまとめることができる。	・日本が、どのような過程を経て条約を締結したかを表現している。 ・条約改正について、考察している。 ・日清戦争後の推移を考察している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション		
	2. 日本の産業革命と教育の普及	22	・日本の産業革命について理解している。 ・学校教育・学校制度がどのように展開したかを年表にまとめている。	・欧米の技術が本格的に導入され、資本主義のしくみについて考察している。 ・工場労働者たちの動きと政府の対応について考察し、表現している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 リフレクション		
	3. 帝國主義と列強の展開	23	・第2次産業革命とその経済活動にあたえた影響を理解している。 ・帝國主義について、各国の経済・政治上の動向をまとめている。	・第2次産業革命が、どのように展開したかを考察している。 ・帝國主義について、主要国の動向を考察し、表現している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション		
	4. 世界分割と列強の対立	24	・アフリカ大陸が植民地化されていく過程を理解している。 ・太平洋諸地域の分割について理解している。	・列強の対立について年表にまとめ、整理し、考察している。 ・列強が二極分化していく動向を、比較しながら考察している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション		
	5. 日露戦争とその影響	25 26	・列強の中国への進出について理解している。 ・日露戦争がおきた背景・過程・結果を年表にまとめている。	・列強の動きが活発化したことに対する中国民衆の反応について表現している。 ・清朝の滅亡と中華民国の成立について、考察している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション		
近代化と現代的な諸課題	自由・制憲/開発・保全	27	・自由・制憲の観点から、開発・保全の観点から、諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめ、近代化の歴史を理解している。	・日清日露戦争や産業革命とそのひずみなどに着目し、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現している。	・自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりや課題を見出そうとしている。	課題提出 授業態度 リフレクション		
国際秩序の変化や大衆化への問い		1 国際関係の緊密化/2アメリカ合衆国とソ連の対立/3植民地の独立/4大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化/5生活様式の変化	28 29	・資料を利用して、これらの事項が国際秩序の変化や大衆化への重要な側面であることを理解している。	・諸資料から、国際秩序の変化や大衆化にあたえた影響について考察している。	・見直しをもって学習に取り組もうとしている。	課題提出 授業態度 リフレクション	
		1. 第一次世界大戦とロシア革命	30 31	・総力戦体制と、その影響による社会の変化を理解している。 ・二十一年の要求に対する日中両国の動きを理解している。 ・日本がシベリア出兵をおこなったねらいを理解している。	・バルカン諸國の対立が第一次世界大戦の開戦に影響をあたえたことを多面的・多角的に考察している。 ・戦時外交とアメリカの参戦が戦争の展開にあたえた影響を考察している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション	

5	第一次世界大戦と大衆社会	2. 国際平和と安全保障	32	・第一次世界大戦後のパリ講和会議、ワシントン会議における各国の意思を理解している。 ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制による国際秩序のあり方を理解している。	・第一次世界大戦後の各国における変化のあり方を、それぞれの国の当時の情勢から考察している。 ・各国国際協定路線をとった背景を考察している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション
		3. アジア・アフリカ地域の民族運動	33 34	・インドの民族運動を理解している。 ・東南アジア地域における民族運動について理解している。 ・西アジアにおける民族と宗教の分布図から国家建設の動きを読み取っている。	・第一次世界大戦後に植民地で民族運動が活発になったことについて考察している。 ・中国における民族運動の展開と、国民党と共産党の活動について考察している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション 定期考査
		4. 大衆消費社会と市民生活の変容	35	・第一次世界大戦後のアメリカ社会のあり方が、どのように大衆消費社会に結びついているのかを理解している。 ・アメリカにおける大衆化と保守化について理解している。	・アメリカ社会の大衆化と、保守化による世界への影響を考察している。 ・因や穿、表などを使いながら、日本における中間層の出現や都市化による変化を表現している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション
		5. 社会・労働運動の進展と大衆の政治参加	36 37	・護国運動を展開した人々の動きと、政府側の対応の推移を理解している。 ・大衆が日本経済にあえた影響を理解している。	・因やグラフを使いながら、民衆のエネルギーがどのような動きとなったか考察している。 ・普通選挙を求める運動について考察している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション
		6. 経済危機と第二次世界大戦	1. 世界恐慌の発生と各国の対応	38	・鉱工業生産指数のグラフを読み、国ごとの回復状況を比較し、理解している。 ・アメリカのニューディール政策と外交政策を年表にまとめている。	・世界恐慌に対して、各国の対応策を比較し、表現している。 ・社会主義政策が世界恐慌にどのように対応することができたかを考察する。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。
2. ファシズムの台頭	39	・ファシズムはどのようにして台頭してきたか年表にまとめている。 ・ドイツにどのようなイデオロギがどのような政策を展開していくか理解している。	・人民戦線政府を比較し、その後の動きを表現している。 ・ソ連の体制とファシズム体制を比較、考察し、表現している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション		
3. 日本の恐慌と満洲事変	40	・金融恐慌について理解している。 ・金融恐慌の結果、市場はどのような状態になったか理解している。	・北伐に対する日本の対応について考察している。 ・金解禁の実施、世界恐慌の影響、昭和恐慌への対応を多面的・多角的に考察し、表現している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション 定期考査		
4. 日中戦争と国内外の動き	41	・二・二六事件について考察したうえで、その後の政府・軍部の動向を理解している。 ・日中戦争について理解している。	・二・二六事件、日中戦争、三国同盟にいたる時期を年表にまとめて、その動向を表現している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション		
5. 第二次世界大戦と太平洋戦争	42 43	・ヨーロッパ諸国がどのような影響を受けたのかまとめる。 ・中国・朝鮮から動員された人びとの生活がどうであったか理解している。	・日本とアメリカの対立について多角的に表現している。 ・日本の主要物資の生産高を比較して、考察している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション		
7	戦後の国際秩序と日本の改革	1. 新たな国際秩序と冷戦の始まり	44	・国際連合について、新しい秩序にどう対応していくか考察している。 ・ドイツの分割統治について、考察している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション	
		2. アジア諸地域の独立	45 46	・中華人民共和国の成立の過程を理解している。 ・朝鮮戦争が、東アジアの諸地域や中華人民共和国・中華民国にあえた影響を理解している。	・東アジア諸国の独立の経緯を考察し、各別に表現している。 ・インド・パキスタン・セイロンの独立について、考察している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション
		3. 占領下の日本と民主化	47	・連合国は、どのように日本の民主化を進めていったのか理解している。 ・戦後の日本の改革を年表にまとめている。	・日本憲法の制定の過程を考察し、表現している。 ・日本憲法を読み、大日本帝国憲法と比較して、考察し表現している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション
		4. 占領政策の転換と日本の独立	48	・日本の占領政策の転換について、理解している。 ・日本の単独講和論と全面講和論の主張を理解し、国際社会へどのように復帰したか理解している。	・サンフランシスコ平和条約と日米安全保障条約の史料を読み、内容を考察している。 ・日本が、どのようなかたちで国際社会に復帰したかを考察している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション 定期考査
国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題		対立・協調／平等・格差／統合・分化	49	・対立・協調の観点から、平等・格差の観点から、統合・分化の観点から、諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめ、国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解している。	・ムスリムとヒンドゥー教徒の関係性などに着目し、オリンピックにおける女性の参加などに着目し、近代以降に発生した移民や難民の発生などに着目し、諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現している。	・自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりや課題を見出そうとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション
グローバリ化への問い	1. 冷戦と国際関係／2人と資本の移動／3高度情報通信／4食料と人口／5資源・エネルギーと地球環境／6感染症／7多様な人々の共存	50 51	・資料を利用して、これらの事項が近代化の重要な側面であることを理解している。	・諸資料から、近代化にあえた影響について考察している。	・見直しをもって学習に取り組もうとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション 定期考査	
8	冷戦と世界経済	1. 集団防衛体制と核開発	52	・西側陣営、東側陣営によるそれぞれの防衛体制の構築について理解している。 ・核兵器の独占が破られたことによるアメリカ社会の衝撃を理解している。	・ワルシャワ条約機構の結成とその影響について考察している。 ・核兵器開発競争の過熱化が原子力発電の開発の本格化につながったことを考察している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション
		2. 米ソ両大国と平和共存	53	・1950年代にアメリカの黒人差別への批判が高まった背景を理解している。 ・東欧諸国を象徴するベルリンの壁構築の背景を理解している。	・1950年代のアメリカ社会を軍産複合体から考察している。 ・冷戦下における外交関係の変化を考察している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション
		3. 西ヨーロッパの経済復興	54	・西ヨーロッパの国際的地位が低下したことを理解している。 ・西ヨーロッパの地域統合における歩みを理解している。	・地域統合がヨーロッパ経済の発展につながったことを考察している。 ・アメリカの主導から西ヨーロッパが脱却しようとした背景を考察している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション
		4. 第三世界の連携と試練	55	・第三世界の形を考察している。 ・印パ戦争や中印国境戦争について、その経過と結果を理解している。 ・中東戦争の経過とパレスチナ解放機構の台頭を理解できる。	・アフリカ諸国が独立後も安定しなかった背景について考察している。 ・キューバ革命がラテンアメリカ諸国にあえた影響を考察している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション
		5. 55年体制の成立	56	・社会党と保守合同による二大政党の対立の契機をまとめている。 ・日本とソ連との国交樹立の経緯を理解している。	・韓国・中国との国交正常化の共通点や相違点などを考察している。 ・日韓基本条約・日中共同声明の史料を読み、その課題について表現している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション
		6. 日本の高度経済成長	57	・経済成長が実現した要因についてまとめている。 ・高度経済成長のメカニズムと日本の産業構造の変化を理解したうえで、農業の近代化についてまとめている。	・貿易黒字について、国際競争力を強めることのできた要因を考察している。 ・社会の豊かさと、日本の食生活の変化を品目別に比較して考察している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション
		7. 核戦争の恐怖から軍縮へ	58	・緊張緩和の動きを理解している。 ・核軍縮に対する米ソや国際社会の取り組みについて理解している。	・キューバ危機について考察している。 ・「東方外交」がどのような結果につながったかを考察している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション
		8. 冷戦構造のゆらぎ	59	・大躍進やプロレタリア文化大革命が中国に影響を与えたことを理解している。 ・プーハの年の経過を理解している。 ・ベトナム戦争の要因と経過について理解している。	・ベトナム反戦運動と公民権運動がアメリカ政治に与えた影響を考察している。 ・1970年代の米ソの感傷低下、米中接近が米ソ間の関係改善につながった点を考察している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション
		9. 世界経済の転換	60	・1970年代に世界経済の転換がおこった背景を理解している。 ・金ドル本位制の影響を理解している。 ・石油危機が世界経済にあえた影響を理解している。	・1970年代に経済成長を重視する価値観から変容が進んだ要因を考察している。 ・石油危機後に新自由主義が西側諸国で目指された理由を考察している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション
		10. アジア諸地域の経済発展と市場開放	61	・アジアでは外資導入によって経済開発が進んだことを理解する。 ・中国の改革開放路線について理解している。 ・高度経済成長後の日本の安定成長の背景を理解している。	・アジアにおける開発独裁について、利点と問題点について考察している。 ・ブラジルとパル経済の関係について考察している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション
9	グローバリ化と私たち	1. 冷戦の終結と国際情勢	62	・ソ連のアフガニスタン侵攻が米ソ関係の悪化と軍事費の増大につながったことを理解している。 ・ゴルバチョフ新思考外交を契機として冷戦が終結したことを理解している。	・イラン＝イスラーム革命の特徴を考察し、表現している。 ・イラン＝イラク戦争と湾岸戦争におけるアメリカの立場について考察している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション
		2. ソ連の崩壊と経済のグローバル化	63	・「レスタロイカ」の取り組みを理解している。 ・世界規模での貿易を促進するWTOの役割を理解している。	・共産党一党支配と連邦制がどのようにソ連の崩壊に結びついていたかを考察している。 ・ユーゴスラヴィア紛争の複雑さを考察している。	・進んで課題を追究したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション

9 グローバル化する世界	3. 開発途上国の民主化と独裁政権の動向	64	・東南アジア諸国やインドにおける民主化や経済政策について理解している。 ・冷戦終結前後の韓国と北朝鮮や台湾の民主化の推進について理解している。 ・文革後の中国の統治政策を理解している。	・ラテンアメリカ諸国で民政移管が進んだ背景を考察している。 ・南アフリカで、マンデラ大統領が誕生した要因を考察し、表現している。	・進んで課題を追及したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション
	4. 地域紛争の激化	65	・オスロ合意が歴史的なものであったことを理解している。 ・イスラム過激派によって同時多発テロ事件がおこされた背景を理解している。	・アフガニスタン戦争がそれまでの戦争とは異なる点を考察している。 ・イラク戦争の問題点について考察し、表現している。	・進んで課題を追及したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション
	5. 国際社会のなかの日本	66	・55年体制の前編の要因と、誕生した政権の特徴を理解している。 ・自衛隊の海外派遣の経緯を理解している。 ・1995年を転換点としての位置づける。	・株価と地価のグラフから、バブル崩壊から2000年代にいたる日本経済の低迷を考察している。 ・21世紀に入っておこなわれた改革や政策による影響や懸念される点を考察している。	・進んで課題を追及したり、比較し、推移をとらえたりして観点を再構築しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション 定期考査
10 現代の課題	1. 現代世界の諸課題	67	・グローバル化のなかで新たに登場した新自由主義について理解している。 ・経済格差などの課題に対してどのように対応していけばよいかを理解している。	・地域紛争やテロ、難民に対する排外主義の問題について、原因・過程を理解し、どのように対応していけばよいかを考察している。	・、男女の平等、男女差別とは異なる性的差別の問題にも着目して、どのように対応していけばよいかを追究しようとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション
	2. 現代日本の諸課題	68	・エネルギー問題について、原子力発電の今後のあり方や自然エネルギーの活用について、理解している。 ・人口減少の要因、今後の対応について理解している。	・自然災害について、過去の歴史も調査して、今後どのように対応していけばよいかを多角的に考察している。	・観光立国としての取り組みについて追究し、これからの日本のあり方について取り組もうとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション
現代の諸課題の形成と展望		69 70	・問いを立てたり、経緯や背景、共通点や相違点、担い手といった視点から整理することが有効であることを理解している。 ・歴史的な見方や考え方を活用することが、現在の課題解決や私たちの将来を構想するうえで大切であることを理解している。	・事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連づけたり、主題について考察、構想し、表現している。 ・資料に対し、その時代や資料を記録したものの立場などを文脈に応じて適切に分析し、資料の意義を判断している。	・みずから問いを立て、分析の方法や視点を設定し、その答えを追究しようとしている。 ・分析や考察の結果を他者と共有したり、比較したりして、自分の考えをより良いものに改善しようとしている。	発表（自身で考えた現代の諸課題の形成と展望について）

4 評点の観点別配転（考査以外も含む）

評価の観点	全学期とも
知識・技能	40
思考・判断・表現	40
主体的に学習に取り組む態度	20

5 授業や課題等に取り組む上での留意点

<p>○主体的に授業に参加し、質問や話し合いを通じて自ら考えをまとめ、根拠を示して表現する機会を設けます。</p> <p>○歴史的思考力を育てるため、自ら問いを立てる訓練と主題を設定し、多面的・多角的に考察できるよう工夫します。</p> <p>○理解を促すために、統計資料や文書画像などの史料を読み取り、活用できるようにします。</p>
--